

ベーシックインカムを考える (東京第1回)

トマピケティの累進課税はBIの財源になりえるか？

平 智之

ベーシック インカム

とは？

平智之『ベーシックインカムを考える』、
2015年3月10日、東京下北沢

スイス連邦議会前にコインを



2013年10月800万枚のコイン
平智之『ベーシックインカムを考える』、
2015年3月10日、東京下北沢

Enno Schmidt <http://on.rt.com/kj8vvc>

BIとは？

平智之『ベーシックインカムを考える』、
2015年3月10日、東京下北沢

- 就労の**有無**や収入の**多寡**を問わず
- すべての**市民**に
- **基本的**(ベーシック)な**所得**(インカム)を
- 国が**個人**単位で
- **現金**給付する

質 問

そんなことしたら
働かない人が増えるじゃないか
「勤労の義務」が大切なのだ

Yes No

■ 論文

□ マニトバ大学

□ 医療費問題

UNIVERSITY OF MANITOBA

THE TOWN WITH NO POVERTY

Using Health Administration Data to Revisit
Outcomes of a Canadian Guaranteed Annual
Income Field Experiment

Evelyn L Forget
February 2011

MINCOME, a Canadian Guaranteed Annual Income (GAI) field experiment ran in the province of Manitoba between 1974 and 1979, and ended with no final report and no analysis of data from the saturation site. This essay uses a quasi-experimental design and routinely collected health administration data to revisit outcomes for the saturation site. We found a significant reduction in hospitalization, especially for admissions related to mental health and to accidents and injuries, relative to the matched comparison group. Physician contacts for mental health diagnoses fell relative to the comparison group. A greater proportion of high school students continued on to grade 12. We found no increase in fertility, no increase in family dissolution rates and no improvement in birth outcomes. Our results document the value of health administration data for historical analysis, and demonstrate that a relatively modest GAI can improve population health suggesting the possibility of health system savings.

0

平智之『ベーシックインカムを考える』、
2015年3月10日、東京下北沢

■ カナダの事例 (Mincome、1974-1979)

□ 医療費の削減

- 交通事故、仕事場の怪我

- DV、心の病の減少

□ ほとんどがFull Timeつづけた

- 著しくワークタイム減ったのは新生児母と学生

- 母や子育て専念、学生は卒業率上昇

- 働き続けた学生よりも「好きな仕事」に就けた

質 問

そんなことしたら
働かない人が増えるじゃないか
「勤労の義務」が大切なのだ

Yes No

質 問

お金持ちにBIは不要だから

やはり収入制限は

あったほうが良いと思う

Yes No

生活保護の捕捉率

- 厚労省 32% (07年「国民生活基礎調査」より)
- 総務省 68.4% (04年「全国消費実態調査」より)
- 一部研究者 20%程度

スティグマ(聖痕)の問題

質 問

そんなことしたら
働かない人が増えるじゃないか
「勤労の義務」が大切なのだ

Yes No

質 問

たとえ納税する市民でも
日本国籍がない場合は
BIを支給すべきでないと思う

Yes No

■ すべての市民に

□成人という解釈

□未成年者も含むという解釈

□納税者という解釈

定義の問題

生活保護の場合⇒日本人、日本人配偶者、永住者、永住者の配偶者、定住者

質 問

たとえ納税する市民でも
日本国籍がない場合は
BIを支給すべきでないと思う

Yes No

質 問

一人でも生活できる程度の
金額をBIとすべきだ
(完全BI)

Yes No

■ 基本的な所得とは？

□ スイス 国民投票 2,800 US\$

□ 日本 子ども26,000円＋最低保障年金

□ 平素案 成人50,000円、未成年2,5000円

質 問

一人でも生活できる程度の
金額をBIとすべきだ
(完全BI)

Yes No

質 問

個人単位で現金を給付すると
世帯や家族の絆が
壊れるから良くないと思う

Yes No

質 問

市場での賃労働になじまない
労働(家庭内労働や社会活動)に
BIで報酬を払うのはいいと思う

Yes No

21世紀の資本とは？

質 問

富裕層にも2種類ある
富を築く者と相続で獲得する者
資産課税は相続税でいい

Yes No

21世紀の資本とは

うぎゃあ、これやの??!!

分厚い！すでにみすず書房から、
2014年末に出るとの予告がアナ
ウンスされている。

21世紀の資本とは

うひー、二ヶ月であげなきゃいか
んですか！ もう少しゆっくり時
間をかけるつもりだったが。しか
し力作なのはまちがいないけれど、
主張はきわめて簡単。

21世紀の資本とは

各国で、**富の格差は拡大してます、**
ということ。そしてそれが今後大
きく改善しそうにないということ
で、

21世紀の資本とは

なぜかという**と経済成長より資本の収益率のほうが高いから、資本を持っている人が経済成長以上に金持ちになっていくから。**

21世紀の資本とは

その対策としては

もっと累進課税をしましょう、

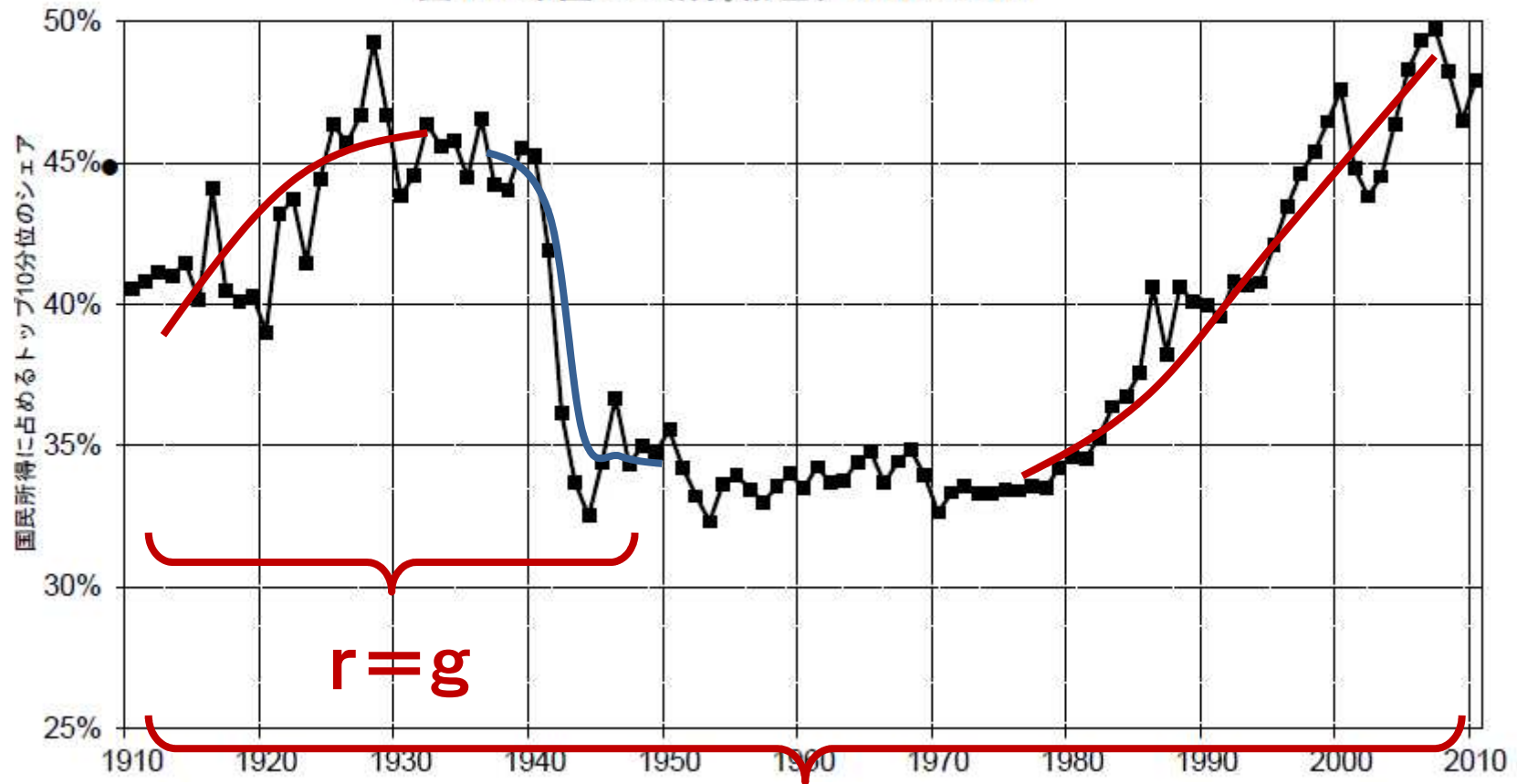
ということね。

21世紀の資本とは (まとめ)

- うぎゃー (分厚い)
- うひー (沸騰)
- しかし簡単だ (明快)
- 格差が広がっている (事実)
- 累進課税しよう (提案)

$$r = g \Rightarrow r > g$$

図 I.1. 米国での所得格差、1910-2010.



平智之『ベーシックインカムを考える』、
2015年3月10日、東京下北沢

2 1 世紀の資本の主張

■ お金が増える > 人が貰う



■ 富裕層 > 中間層



■ 所得と財産に課税

質 問

富裕層にも2種類ある
富を築く者と相続で獲得する者
資産課税は相続税でいい

Yes No

格差以外のキーワード

■ 平等（権利）

■ 能力主義

■ 民主主義

基盤



平等について

～ピケティ来日の対談から～

質 問

共同の利益なら不平等はOK？

共同の利益は為政者が決める

不平等の正当化は危険だ！

Yes No

不平等は正当化される

(**人権宣言**を引用して)社会的な**不平等**と言うのはもしそれが社会全体の公用の為に存在するのであれば、それは**正当化される**のではないかと考えます。これが私の考え方の基盤であります。

人権宣言

第一条 人は、自由、かつ**権利**において**平等**なものとして生まれ、生存する。
社会的差別は、共同の利益に基づくものでなければ、設けられない。

集团的自衛権と原発再稼働の共通点 2

集团的自衛権

平成26年7月1日 安倍総理記者会見より

人々の幸せを願って作られた日本国憲法がこうしたときに**国民の命を守る責任を放棄せよ**といているとは私にはどうしても思えません。この思いを与党の皆さんと共有し、決定いたしました。

原発再稼働

平成24年6月8日 野田総理記者会見より

仮に計画停電を余儀なくされ、突発的な停電が起これば、**命の危険にさらされる人も出ます**。(中略) 計画停電がなされ得るという事態になれば、それが実際に行われるか否かにかかわらず、日常生活や経済活動は大きく混乱をしてしまいます。

戦争に参加し、原発を再稼働しないと、「国民の命が危ない」と主張する

質 問

共同の利益なら不平等はOK？

共同の利益は為政者が決める

不平等の正当化は危険だ！

Yes No

質 問

結果の平等は平等の強制にもなる
民主主義が追及する平等では
機会の平等を優先すべきだ

Yes No

底上げなら格差は正当化OK

もしも底上げということで、
一番底辺の人たちの
所得が上がるのであれば、
格差というのは正当化できる。

トリクルダウンは疑問

- いわゆるトリクルダウン効果という
ような、最終的には格差があったと
しても一番底辺にまで富がいくのだ
からいいという意見に反対ではない
のですけど、
- 毎回必ずそうなるとは言えないとい
うのが、過去のエビデンスを見ると
言えることです。

極端な不平等は正当化 N G

それが全体の利益となるのであれば、不平等は問題にはならないでしょう。しかし、その不平等が極端である時、それが全体の利益となるからと言って正当化されるべきであるとは思いません。

ところで平等とは

- 民主主義で獲得できる平等
- 機会の平等と結果の平等
- 機会の平等 ⇒ チャンスは万人にあり
- 結果の平等 ⇒ リスクを小さくする